

## かんちゃんのお遍路さん(6)

泉州労山 管和彦

室戸岬へのみち。全身グジョ濡れで二日間歩きっぱなしには、さすがにマイッタ!

私は2013年5/12~6/17、37日間かけて四国88カ所1200kmを歩いてきました。

**4日目**徳島県13~17番。「善根宿栄タクシー」泊**5日目**18~19番。道の駅「ひなの里かつうら」軒下で泊**6日目**20~22番。側道上にツェルト張り野宿**7日目**23番。「善根宿はしもと」泊**8日目**は高知県へ歩くだけ。道路端の休憩所泊**9日目**室戸岬24番。民宿泊。

**3日目**焼山寺下山は日が暮れ途中の玉ヶ峠にあるお堂で寝る。誰も居ない山中のお堂はお通夜風でキショク悪かったが寝るしかないっ!寝る準備してたら牧君が追いついて来て一緒になったので平気を装って寝た。今日は費用0円。**4日目**下山後の13~17番は街中歩き。栄タクシー善根宿は2階建てでサイコー。ありがたい。また牧君と同宿になる。今日は1729円使う。**5日目**19番過ぎの沼江大師付近で一息入れてたら、おばちゃんが「お接待させて下さい」と手作りチッシュカバーをくれる。歩き遍路へ手作りをこうして配っているのだろう。今日は30km歩いた。「ひなの里」は大きな道の駅で、人気が無くなってから全身石鹸つけて拭き、風呂入らなくても何とかなる。軒下にツェルト張り快適に寝る。スーパーでメガネ部品買い今日は2697円使う**6日目**予定していた道の駅「わじき」は規模が小さくて食糧調達できない・ガクッ。仕方ないので食糧探して先へ進む。あらたの駅で食糧入手、今日は贅沢してアイスモナカを食べた。泊地求めてどんどん歩くが、日和佐あと12km地点で陽が暮れてしまった。周囲は田んぼ小屋も無い。ヘビが来ないだろうと思われる側道アスファルトにツェルトを張り寝る。車が来ればクラクションならすだろう。今日も30km歩く、費用1019円なり。**7日目**先へ進み過ぎ泊地を明るいうちに通過して、その結果泊る所に難儀するので、今日は薬王寺でうちどめ~。日和佐城を見物し、温泉に浸かり食事してのんびり過ごす。善根宿「はしもと」は廃車バス。使用を申し込みバスに居ると、残り物だからと言って、食べたこともないような超豪華なお弁当を届けてくれた。思わず涙が出たねえ~。遍路中で一番の御馳走だった。自転車遍路の井上氏と同宿し、数日間離合を繰り返す。心安らぐ中年男性だった。**8日目**道の駅「穴喰温泉」で風呂・食事をして日が暮れて道の駅で寝ようとした所、ホテルと一体経営のため道の駅幕営禁止。ヒエ~涙・涙。ひどい雨の中を国道トラックのシブキを浴びながらヘッドランプ頼りにトボトボ高知県へ向け歩く。県境を越して高知県へ。感慨もなにも有ったもんじゃない。東洋町甲浦辺りで道路脇に遍路小屋を見つける。雨がザンザン降り込み、ブルーシートにくるまってカッパきたまま寝る。**9日目**雨が降ったり止んだり。昼には止むがポンチョ着たまま。室戸岬への湾曲した海岸沿い国道は、はるか遙か霞の彼方に室戸岬らしき影。行けども行けども全然近寄らず。海岸の岩礁には台風かと思う大波が無いあがる。が、海岸風景は言葉で表せないほどきれい。しかし室戸への道はさすがに遠く、マイッタア~と弱音を吐きそうになる。バス停を見れば、あのバスに乗れば大阪へ帰れる・ばかり考えて歩いた。まあ~えらいもんで、60cmづつ歩を進めることで室戸岬へ着いた。「千里の道も一歩から」とは本当だった。それに、3日かかる所を一泊2日で歩き通したんだから自分でも驚いた。室戸岬の24番最御崎寺をお参りして、はるばる足摺岬まで歩いた自分にご褒美!25番は止めて早々と民宿「川崎」へ。遍路始めて最初の有料宿泊でした。

その後も、ひとの情けに涙し、波瀾万丈の八十八ヶ所お遍路の旅が続くのでした。